

iCON
pro
Audio



UPORTS 6

ProDrive III

4入力 / 2出力、+48V ファンタム電源付きレコーディング
USB インターフェース



ユーナードマニュアル





電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになつたあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICON製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがつた使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

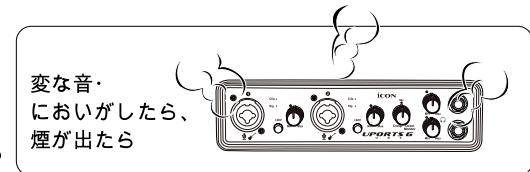
この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

本体やACパワーадаптер、充電器などの動作がおかしくなったり、破損しているのにお気付きの場合はすぐにお買い上げ店またはアイコンサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- ① アイコンサービスセンター
- ② USBケーブルを抜く
- ③ お買い上げ店またはアイコンサービス窓口に修理を依頼する



警告表示の意

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じることがあります



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の器具に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



警告

火災



感電



下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがのとなります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。絶対に自分で分解しないでください。内部の点検や修理はお買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご依頼ください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。この機種は防水構造にはなっていませんので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーадаптерや充電器をコンセントから抜いてください。電池を使用している場合は、すぐに電池を取り出してください。そして、お買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご相談ください。

内容

はじめに	4
付属品をご確認ください	4
お客様のアカウントで ICON Pro Audio 製品をご登録ください	5
機能	6
フロントパネル	7
リヤパネル	8
Mac ドライバのインストール	9
ミキサコントロールパネル	11
Windows ドライバのインストール	12
ProDrive III	15
ミキサコントロールパネル	16
設定 (サンプルレートと遅延の設定)	18
ProDrive III ホスティングラック	22
ハードウェアの接続	23
仕様	24
修理について	25

はじめに

ICON Cube2Nano Live シリーズ USB オーディオレコーディングインターフェースーを

お買い上げいただき、ありがとうございます。弊社はお客様に本製品を末永く御愛用いただけるものと確信いたしておりますが、万一お客様にご満足いただけない場合でも、ご満足いただけるよう努めて参ります。

本書には、Cube2Nano Live シリーズ USB オーディオレコーディングインターフェースー

の特徴、フロントパネル、サイドパネルの詳しい解説と、設定方法、使用方法、そして主要諸元が記載されています。

次のリンクのサイトから製品を登録してください：www.iconproaudio.com/registration:

次の手順に従ってください。まず、デバイスのシリアル番号と個人情報などを記入します。www.iconproaudio.com にてオンラインで製品をご登録いただくと、サービスやアフターセールスサポートを弊社のヘルプセンターからお受けすることができます。また、個人製品ページでお客様のアカウントに登録済み製品が表示されるので、そこでお使いのデバイスのファームウェア / ドライバのアップグレード、ソフトウェアバンドル、ユーザーマニュアルのダウンロードなど行うことができます。

他の電子製品と同様、本製品につきましてもご購入いただきました際の梱包材一式を保管していただきますようお願い申し上げます。万一修理のため本製品を弊社に返送していただく場合は、製品ご購入時の梱包材（あるいはそれと同等の梱包材）が必要となります。

本製品は、適切に整備・お手入れをしていただければ、故障することなく末永くご利用いただけます。後日照会させていただくため、シリアルナンバーを下欄に控えていただけますよう、お願い申し上げます。

付属品をご確認ください

- UPorts6 USB レコーディングインターフェース
- 本ユーザマニュアル
- USB 2.0 ケーブル

お客様のアカウントで ICON Pro Audio 製品をご登録ください

1. お使いのデバイスのシリアル番号を確認してください

<http://iconproaudio.com/registration> に進むか、下の QR コードをスキャンします。.



画面に、お使いのデバイスのシリアル番号など、請求された情報を入力します。
「Submit」をクリックします。

形式番号やシリアル番号などのデバイス情報を表示したポップアップウィンドウが現れます。「Register this device to my account」をクリックします。別のメッセージが表示された場合はアフターセールスサービスチームまでご連絡ください。

2. 既存ユーザーの方は、ご自分の個人アカウントページにログインします。未登録の方は新規ユーザーとして登録してください。

既存ユーザーの場合：ユーザー名とパスワードを記入して、個人ユーザーページにログインしてください。

新規ユーザーの場合：「Sign Up」をクリックして、情報をすべて記入してください。

3. 役に立つ資料をダウンロードする

このページのアカウントに、登録済みデバイスがすべて表示されます。製品ごとにドライバ、ファームウェア、各言語版のユーザーマニュアル、バンドルされたソフトウェアなどが表示されるので、これらをダウンロードすることができます。デバイスのインストールを開始する前に、ドライバなどの必要なファイルをダウンロードしておいてください。

機能



ICON UPorts6 USB レコーディングインターフェースは、USB 接続可能なオーディオ入出力モジュールです。主な機能：

- 24 ビット 192KHz 4 入力 / 2 出力 USB レコーディングインターフェース。
- 高ダイナミックレンジ：
AD 114dB
DA 114dB
- 4x2 アナログ I/O フルデュプレックス録音再生。
- 独立ゲインコントロールとファンタム電源スイッチ付きデュアルマイク / 楽器用ブリアンプ
- 1/4 インチ (6.35mm)TRS ジャックのつのアナログライン入力 2 個
- 1/4 インチ TRS ジャックによるアナログ出力 2 個。
- 1 x 1 – 16 チャンネル MIDI I/O。
- フロントパネルのマスターボリュームコントロール。
- トップパネルのダイレクトモニタリングコントロールつまみ
- ソース割当可能なヘッドホン出力 2 個。専用ボリュームコントロール付き。
- ソフトウェアコントロールパネルによるフレキシブルチャンネルルーティング。
- ICON の画期的な ProDrive III™ プラグインホスティングラックが提供されます
- 別の プラグインが提供されます。
- 高速 USB2.0 装着。USB バス電源。
- DirectSound、WDM、ASIO2.0 をサポート。
- Mac OS (Intel-Mac) 10.11 以降と互換性があります、iOS 9 以降、Windows 7、Windows 8、Windows 10 (32 ビット / 64 ビット) 対応。
- フルデュプレックス、同時録音再生。
- iOS で使用する場合の外部電源用 +12VDC 電源コネクタが装着されています。
- 堅牢なアルミニウム筐体。

フロントパネル



1. 「Mic/Inst」入力 1/2

楽器およびマイクレベル不平衡入力。このハイブリッドコネクタには、標準 3 ピン XLR プラグまたは 1/4 インチ TS コネクタが接続できます。

2. 48V ファンタム電源スイッチ

このスイッチを押すと、それに関連した XLR 入力に 48V ファンタム電源が供給されます。このファンタム電源はほとんどのコンデンサマイクに使用できます。

3. 入力ゲインレベルコントロール 1/2

関連アナログマイク / 楽器 / ライン入力の入力レベルコントロール用ポテンショメーター。

4. 直接モニタリングつまみ

このポテンショメーターは、PC 出力と実際のアナログ入力のオーディオ信号の流れを制御するものです。

Comp (反時計回り) PC オーディオ信号のみがモニターされます。

Direct Out (時計回り) アナログ入力 (Mic/Inst 1&2) のみがモニターされます。

Mix (中央) PC とアナログ入力の両方のオーディオ信号がモニターされます。

5. HP モニター 1 出力

この出力ジャックは、標準の 1/4 インチステレオ TRS ヘッドホンコネクタを受け入れます。

6. HP モニター 1 ボリュームコントロール

このポテンショメーターは、HP モニター 1 の出力レベルを制御します。

7. HP モニター 2 出力

この出力ジャックは、標準の 1/4 インチステレオ TRS ヘッドホンコネクタを受け入れます。

8. HP モニター 2 ボリュームコントロール

このポテンショメーターは、HP モニター 2 の出力レベルを制御します。

リヤパネル



1. USB 2.0 コネクター

付属のケーブルで、本器とご使用の Mac または PC の USB コネクターとを接続します。ご使用の Mac または PC が USB2.0 接続可能でなければ、UPorts6 をフルスピードで動作させることはできません。

2. ライン入力 3/4

-10dB ラインレベルの不平衡アナログ入力用標準 / インチコネクター。

3. ライン出力 1-4

+6dBU ラインレベルの不平衡アナログ出力用標準 / インチコネクター。

4. MIDI I/O コネクタ

MIDI 入出力用標準 5 ピン DIN コネクタ。

5. 12V/1A 電源アダプター

ここに、付属の電源アダプターを接続します。

注意 : UPorts6 は、付属の電源アダプターを接続しなければ動作しません。USB バス電源では、UPorts6 を動作させるための十分な電源を供給することはできません。

Mac ドライバのインストール

UPorts6 はクラスコンプライアンスデバイスです。従って、Mac にドライバをインストールする必要がありません。さらに、カメラキットに接続すると iOS デバイスがフルサポートされます。

次の手順に従って、UPorts6 シリーズ USB レコーディングインターフェースとそのドライバをインストールしてください。

1. Mac の電源を入れる

(注意：ここではまだ Mac に UPorts6 シリーズデジタルオーディオインターフェースを接続しないでください)

2. クラスコンプライアンスデバイス

UPorts6 は Mac OSX のクラスコンプライアンスデバイスなのでドライバをインストールする必要がありません。

3. デスクトップにソフトウェアコントロールパネルのショートカットロゴをコピーする

上で示した「Mac」フォルダを開きます。「ProDrive III」ソフトウェアパネルのショートカットロゴをコピーし、デスクトップに貼り付けてください。

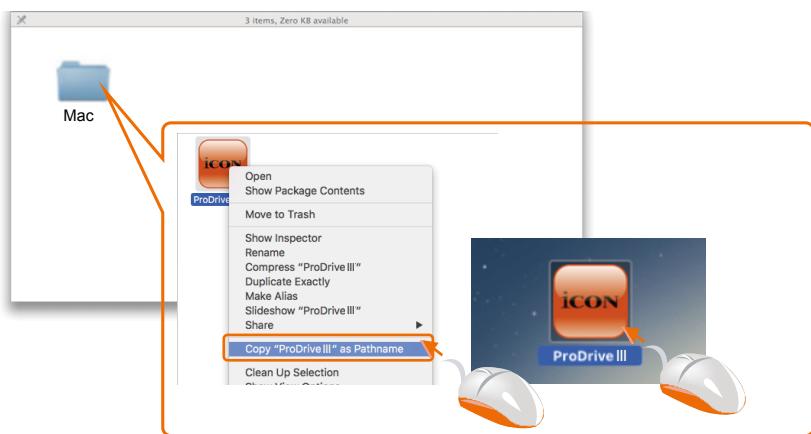


図 1

4. ソフトウェアコントロールパネルを起動する

たった今デスクトップにコピーした UPorts6 ソフトウェアコントロールパネルのショートカットロゴをクリックすると、ソフトウェアコントロールパネルが起動します。

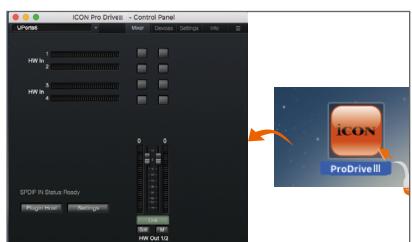


図 2

5. UPorts6 デジタルオーディオインターフェイスの接続

さあ、お使いの Mac の USB ポートに UPorts6 デジタルオーディオインターフェイスを接続しましょう。

注意： UPorts6 オーディオインターフェイスは USB2.0 のみをサポートします。ですから、お使いの Mac には USB 2.0 ポートが装着されていなければなりません。



図 3

6. オーディオ MIDI セットアップ

「オーディオ MIDI セットアップ」ウィンドウを開き、下の図 4 のように、 UPorts6 デバイスのセットアップが正しく行なわれたかを確認してください。

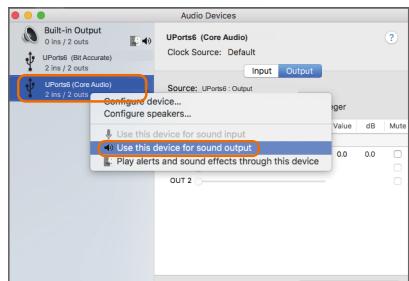


図 4

ミキサコントロールパネル

本ミキサはマトリックスミキサと同様に作動します。対応する入力または出力チャンネルレベルを起動して調整してください。これらは大変便利で、入出力が非常に柔軟に行なえます。任意の入力を任意の出力に対応させることができます。

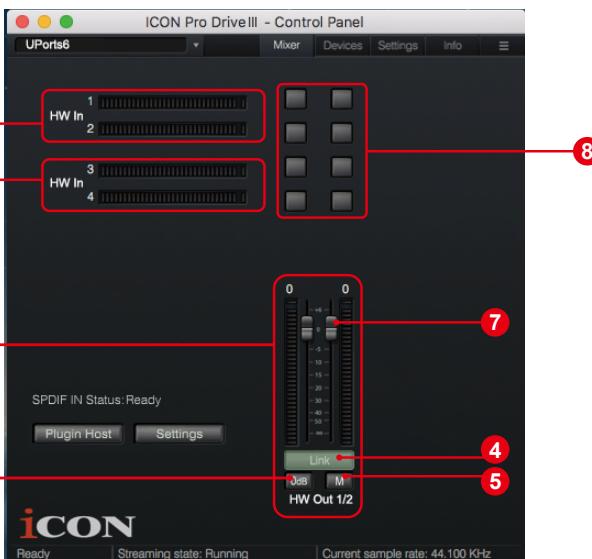


図 5

1. HW Input 1/2 レベルメーターリング

ハードウェア入力 1/2 入力レベルを表示します (HW In 1/2)。

2. HW Output 1/2 出力レベルを表示します

ハードウェア出力 1/2 出力レベルを表示します (HW Out 1/2)。

3. HW Input 3/4 レベルメーターリング

ハードウェア入力 3/4 入力レベルを表示します (HW In 3/4)。

4. リンクスイッチ

両方のチャンネルを同時に調整するスイッチ。

5. ミュートスイッチ

対応するチャンネルをミュートするスイッチ。

6. 「0dB」スイッチ

対応するチャンネルを瞬時に「0dB」レベルに調整するスイッチ。

7. ゲインコントロールフェーダー

これをスライドして、対応するチャンネルのゲインレベルを調整します。

8. 入力 & 出力マトリックススイッチ

ハードウェア入力チャンネルとそれに対応するハードウェア出力チャンネルとのルートをオンオフするスイッチ。このマトリックスは大変便利で、入出力が非常に柔軟に行なえます。任意の入力を任意の出力に対応させることができます。

Windows ドライバのインストール

次の手順に従って、UPorts6 シリーズ USB レコーディングインターフェースとそのドライバをインストールしてください。

1. コンピュータの電源を入れる

注意: ここではまだコンピュータに UPorts6 シリーズデジタルオーディオインターフェースを接続しないでください。

2. www.iconproaudio.com の個人ユーザーページから、Windows ドライバをダウンロードします

ドライバファイルをダウンロードしたら、そのファイルをクリックしてインストールプロセスを開始します。

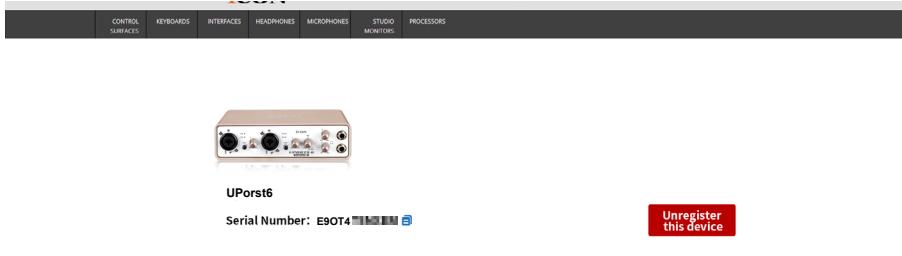


図 6

3. インストールウィザードが表示される

図 7 のような「ようこそ」画面が表示されたら「次へ」を選択してください。



図 7

4. ライセンス契約書

「I Agree」をクリックして継続します。

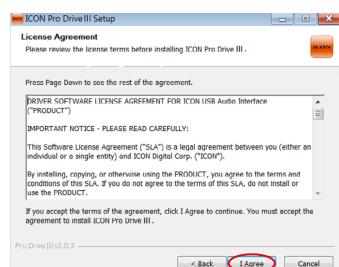


図 8

5. インストールしたいコンポーネントを選択する

インストールしたいコンポーネントにチェックマークを入れてください。全部のコンポーネントを選択するよう強くお勧めします。

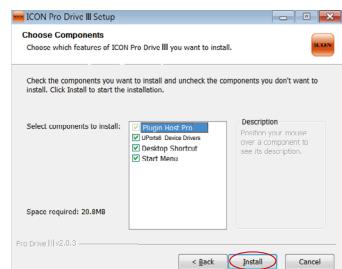


図 9

6. ファイルのインストールの準備

インストールプロセスが開始されます。ご使用のコンピュータの性能によってこのプロセスに要する時間が異なります。プロセスが終了するまでお待ちください。

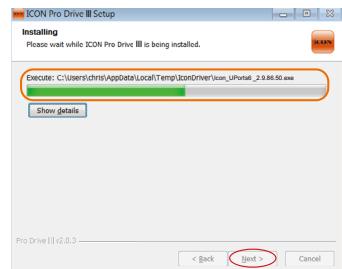


図 10

7. 「Install」をクリックして継続します。

注意：ドライバが3回別々にインストールされるので、同じメッセージが3回表示されることがあります。



□ 11



□ 12



図 13

8. セットアップの完了

図 14 のようなウィンドウが表示されます。「フィニッシュ」を選択してください。

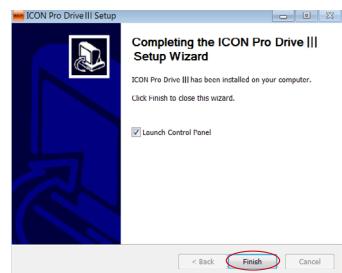


図 14

9. ソフトウェアコントロールパネルを起動する

システムトレイの UPorts6 ロゴをクリックすると、ソフトウェアコントロールパネルが起動します
(15 ページ)。



図 15

10. UPorts6 シリーズデジタルオーディオインターフェースを接続する

ではここで、コンピュータの USB ポートに UPorts6 シリーズデジタルオーディオインターフェースを接続して。



図 16

ProDrive III

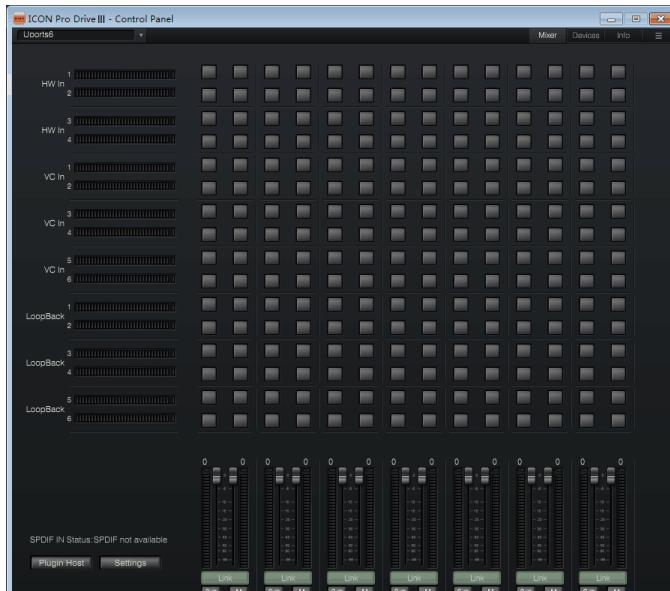


図 17



図 18

UPorts6 の柔軟性を向上させパワフルにすべく、新テクノロジー ProDrive III が開発されました。これは、弊社が誇る画期的な ラック、プラグインホスト、仮想信号ルーターです。スタンドアロンで実行させることも、お好みの DAW で動作させることもできます。デジタルオーディオワークステーションを通じて実行せずに、ギターモデリングを立ち上げて演奏したり、MIDI コントローラーを接続してお好みの仮想楽器を制御することができます。

ミキサコントロールパネル

ミキサコントロールパネルには、3種類の操作可能な主要 ASIO チャンネルがあります。

1. UPorts6 ハードウェアチャンネル (HW In 1/2、3/4 と HW Out 1/2)

これは UPorts6 のハードウェア入出力チャンネルです。

2. UPorts6 仮想チャンネル (VC In 1/2、3/4、5/6)、(VC Out 1/2、3/4、5/6)

これは WDM に関連した仮想入出力チャンネルです。

例： WDM Out 1/2 を VC In 1/2 にリンクさせる

VC Out 1/2 を WDM In 1/2 にリンクさせる

3. UPorts6 ループバックチャンネル (LB 1/2、3/4、5/6)

これは ASIO ループバックチャンネルです。

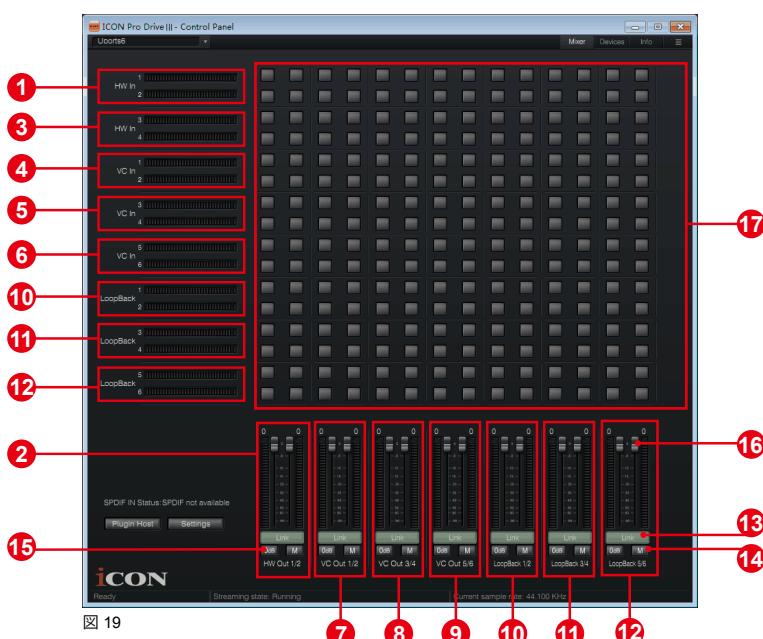


図 19

異なるクロスポイント起動すると、希望のチャンネルに、それに対応する信号を送ることができます。

1. HW Input 1/2 レベルメーターリング

ハードウェア入力 1/2 入力レベルを表示します (HW In 1/2)。

2. HW Output 1/2 出力レベルを表示します

ハードウェア出力 1/2 出力レベルを表示します (HW Out 1/2)。

3. HW Input 3/4 レベルメーターリング

ハードウェア入力 3/4 入力レベルを表示します (HW In 3/4)。

4. VC In 1/2 (仮想) 入力レベルメーターリング

WDM 1/2 入力レベルを表示します (VC In 1/2)。

5. VC In 3/4 (仮想) 入力レベルメーターリング

WDM 3/4 入力レベルを表示します (VC In 3/4)。

6. VC In 5/6 (仮想) 入力レベルメーターリング

WDM 5/6 入力レベルを表示します (VC In 5/6)。

7. VC Out 1/2 (仮想) 出力レベルメーターリング

ASIO 1/2 VC 出力レベルを表示します (VC Out 1/2)。

8. VC Out 3/4 (仮想) 出力レベルメーターリング

ASIO 3/4 VC 出力レベルを表示します (VC Out 3/4)。

9. VC Out 5/6 (仮想) 出力レベルメーターリング

ASIO 5/6 VC 出力レベルを表示します (VC Out 5/6)。

10. ループバック 1/2

ASIO ループバック 1/2 チャンネルのレベルメーターリングを表示します。

11. ループバック 1/2

ASIO ループバック 1/2 チャンネルのレベルメーターリングを表示します。

12. ループバック 1/2

ASIO ループバック 1/2 チャンネルのレベルメーターリングを表示します。

13. リンクスイッチ

両方のチャンネルを同時に調整するスイッチ。

14. ミュートスイッチ

対応するチャンネルをミュートするスイッチ。

15. 「0dB」スイッチ

対応するチャンネルを瞬時に「0dB」レベルに調整するスイッチ。

16. ゲインコントロールフェーダー

これをスライドして、対応するチャンネルのゲインレベルを調整します。

17. 入力 & 出力マトリックススイッチ

ハードウェア入力チャンネルとそれに対応するハードウェア出力チャンネルとのルートをオンオフするスイッチ。このマトリックスは大変便利で、入出力が非常に柔軟に行なえます。任意の入力を任意の出力に対応させることができます。

設定 (サンプルレートと遅延の設定)

「Setting」ボタンをクリックすると設定ウィンドウが起動します。

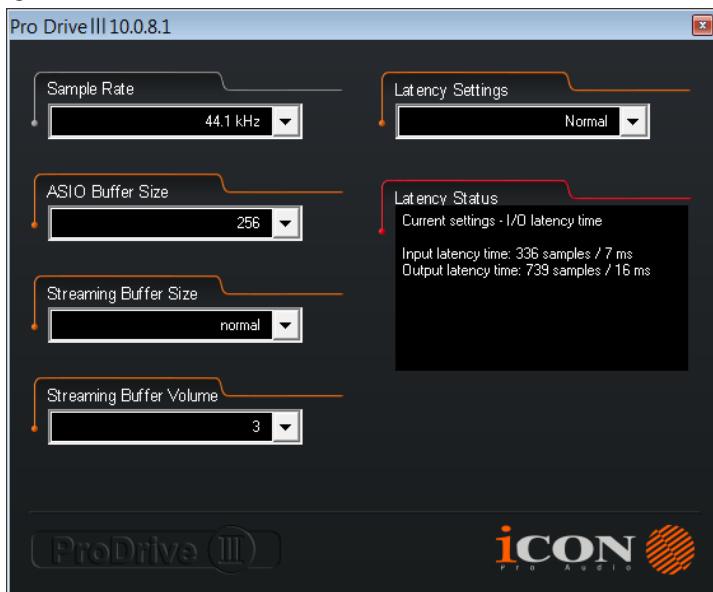


図 20

サンプリングレートの設定

図 21 のプルダウンウインドウで、44.1KHz～192KHz のいずれか希望のサンプリングレートを選択してください。



図 21

遅延設定

6個の設定から遅延が選択できます。ご自分で遅延の値をカスタマイズしたい場合は custom を選択してください。

- 安全 (最大の遅延)
- きわめて大
- 通常
- 小
- きわめて小
- 最小 (最小の遅延)
- カスタム

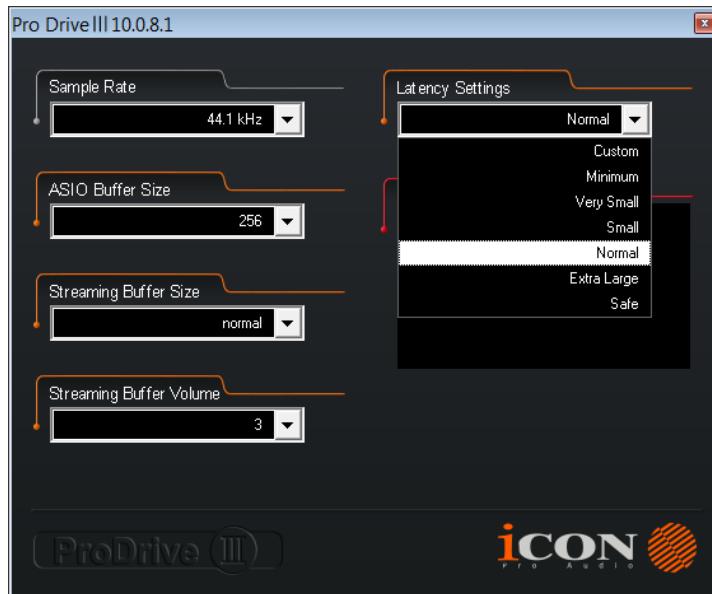


図 22

ご自分で遅延設定をカスタマイズできるように、3種類の設定があります：選択できる値：

1. ASIO バッファーサイズ

値は、32/64/128/256/512/1024/2048/4096 に調整できます。

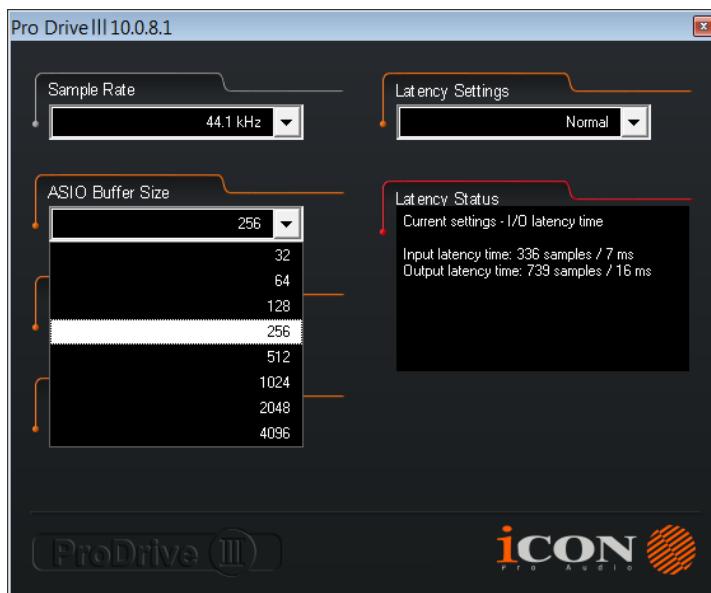


図 23

2. ストリーミングバッファーサイズ

調整可能な設定：最低 / 低 / 通常 / 高 / 最高

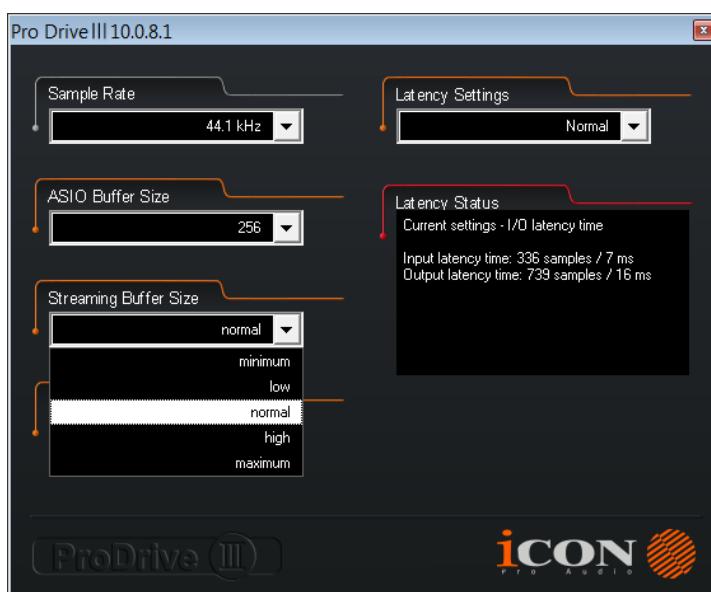


図 24

3. ストリーミングバッファーボリューム

調整可能な値：2/3/4

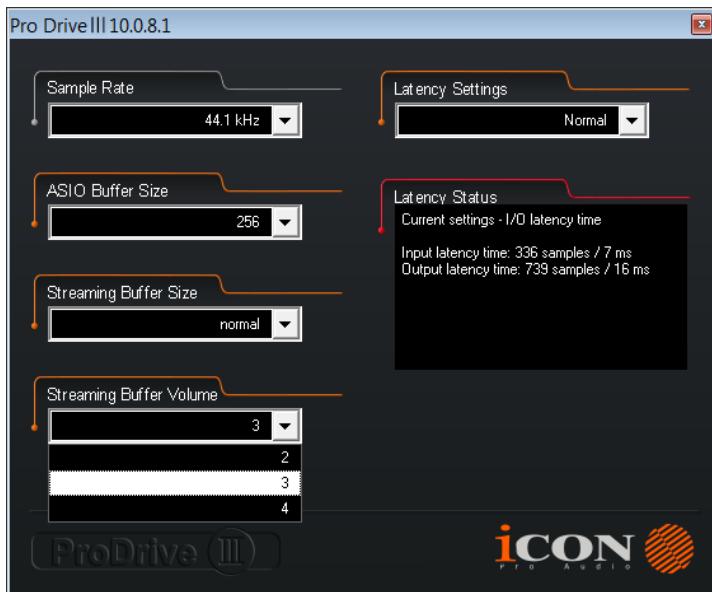


図 25

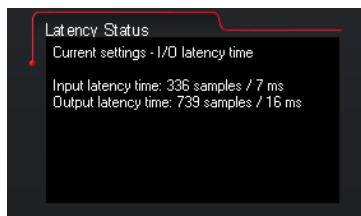
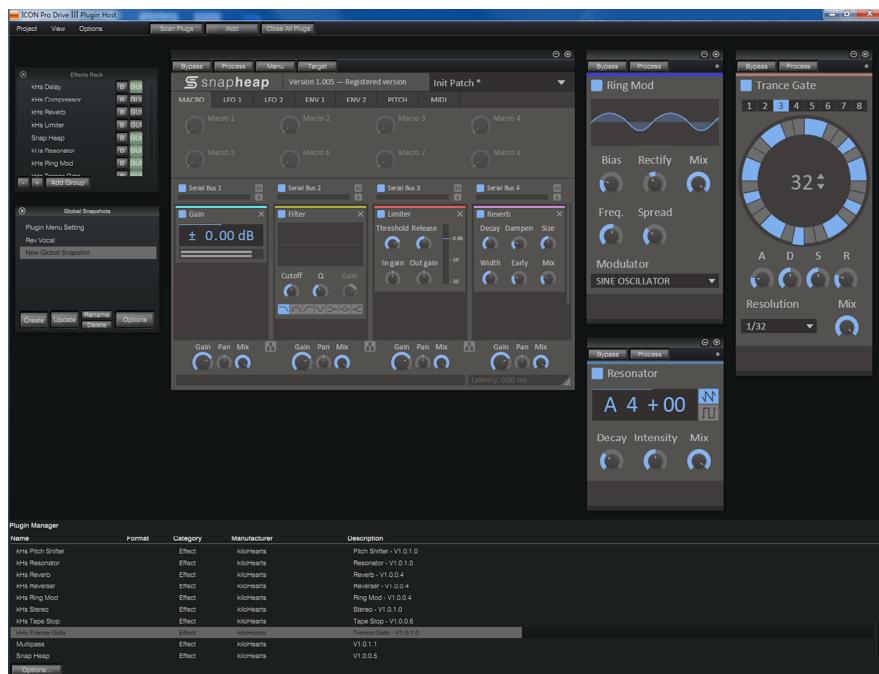


図 26

(注意：「Latency Status」ウィンドウに警告メッセージが表示されたら、大きな遅延の値を調整してください。)

(注意：クリック音が聞こえたら、さらに大きなバッファサイズに設定を変更してください。一番大きなバッファサイズを選択した場合でもクリック音が聞こえることがあります。これは、ご使用のコンピュータの性能が不十分なため、タスクを処理しきれないことを意味します。（これは、UPorts6 シリーズデジタルオーディオインターフェースから発生する音ではありません。）

ProDrive III ホスティングラック



ProDrive III ラックでは、DAW に、お好みのプラグインを使用することができます。DAW を実行することなく、スタンドアロン プラグインエフェクタとして使用することもできます。

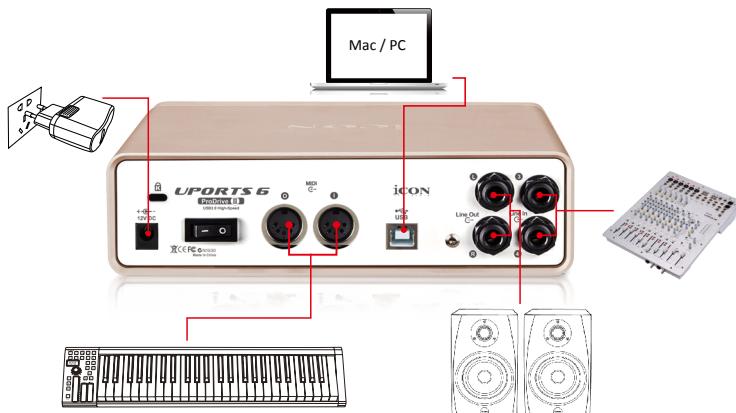
ハードウェアの接続

UPorts6 デジタルオーディオインターフェースの出力を、ご使用のアンプやパワードモニターやサラウンドシステムに接続してください。2 チャンネルステレオ動作です。デフォルト出力はチャンネル 1 と 2 です。

ヘッドホンでモニタする場合、デバイスのヘッドホン出力にヘッドホンを接続してください。

デバイスのアナログ入力には、マイクや楽器、またはその他のラインレベルアナログソースを接続してください。

同軸デジタル I/O に S/PDIF デジタルデバイスを、MIDI I/O に MIDI デバイスをそれぞれ接続してください。



仕様

Mic/Inst Inputs 1-2 (Balanced; at Minimum Gain):

Frequency Response:	22Hz to 22kHz (+/-0.1dB)
Dynamic Range:	114dB, A-weighted
Signal-to-Noise Ratio:	-114dB, A-weighted
THD+N:	-100dB
Crosstalk:	-100dB @ 1kHz
Input Impedance:	Inst in: 390K Ohms, typical; Mic in: 1.8K Ohms, typical
Adjustable Gain:	+53dB
Total Gain Range:	+56dB

Line Inputs 3-4 (balanced):

Frequency Response:	22Hz to 22kHz (+/-0.1dB)
Dynamic Range:	114dB, A-weighted
Signal-to-Noise Ratio:	-114dB, A-weighted
THD+N:	-100dB
Crosstalk:	-100dB @ 1kHz
Nominal Output Level:	Balanced: +4dBu; Unbalanced: -10dBV
Maximum Output Level:	Balanced: +10.2dBu, typical; Unbalanced: +2.0dBV, typical
Input Impedance:	10K Ohms, typical

Line Outputs 1-2 (balanced):

Frequency Response:	22Hz to 22kHz (+/-0.1dB)
Dynamic Range:	114dB, A-weighted
Signal-to-Noise Ratio:	-114dB, A-weighted
THD+N:	-100dB
Crosstalk:	-100dB @ 1kHz
Nominal Output Level:	Balanced: +4dBu; Unbalanced: -10dBV
Maximum Output Level:	Balanced: +10.2dBu, typical; Unbalanced: +2.0dBV, typical
Output Impedance:	150 Ohm
Load Impedance:	600 Ohm minimum

Headphone Outputs: 1 & 2 (at Maximum Volume; Into 100 Ohm load):

Frequency Response:	22Hz to 22kHz (+/-1dB)
Power into Ohms:	90 mW into 100 Ohms
THD+N:	<0.06% (-66dB)
Signal-to-Noise Ratio:	-90dB, A-weighted
Max Output Level into 100 Ohms:	+2.0dBV, typical
Output Impedance:	75 Ohm
Load Impedance:	32 to 600 Ohms

修理について

本製品の修理が必要な場合は、以下の手順に従ってください。

以下のような情報、知識、ダウンロードについては、当社のオンラインヘルプセンター (<http://support.iconproaudio.com/hc/en-us>) でご確認ください。

1. FAQ (よくあるご質問)
2. ダウンロード
3. 詳細情報
4. フォーラム

必要な情報のほとんどが、こちらのページに記載されています。お探しの情報が見つからない場合は、下のリンクからオンライン ACS (自動カスタマーサポート) でサポートチケットを作成してください。当社のテクニカルサポートチームがお手伝いいたします。
<http://support.iconproaudio.com/hc/en-us> にアクセスしてサインインし、チケットをお送りください。ただし、「Submit a ticket」をクリックするとサインインの必要はありません。

照会チケットをお送りいただくと、弊社サポートチームが、ICON ProAudio デバイスの問題をでき限り早く解決できるようにお手伝いいたします。

不良品を修理・交換のために返送する場合：

1. 問題の原因が誤操作や外部システムデバイスではないことを確認してください。
2. 弊社にて修理の際、本書は不要ですので、お手元に保管してください。
3. 同梱の印刷物等や箱など、購入時の梱包材で本製品を梱包してください。梱包材がない場合は、必ず適切な梱包材で梱包してください。工場出荷時の梱包材以外の梱包材が原因で発生した損害について、弊社では責任を負いかねます。
4. 弊社サービスサポートセンターまたは地区内の正規サービスセンターに本製品を送付してください。下のリンクから、当社のサービスセンターおよび販売店の所在地をご覧ください：

香港にお住まいの場合は、
製品をこちらまで返送してください：

ICON (Asia) Corp:
Unit F, 15/F., Fu Cheung Centre,
No. 5-7 Wong Chuk Yueng Street, Fotan,
Sha Tin, N.T., Hong Kong.

北米にお住まいの場合は、
製品をこちらまで返送してください：

ICON Service Centre
611 Potomac PL Ste 102
Smyrna, 37167-5655 Tennessee.
United States
Tel.: +1 615 540 989

ヨーロッパにお住まいの場合は、
製品をこちらまで返送してください：

Sound Service
GmbHEuropean
HeadquarterMoriz-Seeler-Straße
3D-12489 Berlin
Telephone: +49 (0)30 707 130-0
Fax: +49 (0)30 707 130-189
E-Mail: info@sound-service.eu

5. その他更新情報は、弊社ウェブサイト (www.iconproaudio.com) をご覧ください。



ICON
Pro Audio



www.iconproaudio.com